

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(株)美和樹脂 工場 新築工事	階数	地上2F
建設地	静岡県焼津市藤守字法願寺2861	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法第22条地区	平均居住人員	29 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2022年8月31日
敷地面積	12,157 m <sup>2</sup>	作成者	水野 芳康
建築面積	6,632 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	10,224 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> これは、CASBEE静岡2016年版(Ver.4.0)による評価である。		<b>その他</b> (株)美和樹脂は、自動車部品・家電の部品などのプラスチック製品の射出成型・製造をする会社であり、吉田工場でも上記の製品を生産します。
<b>Q1 室内環境</b> 1階事務所において、庇とブラインドの組み合わせにより眩しさを制御し、平均照度のが799lxになるよう照明計画をする事により、昼光環境の向上に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 給水・排水配管には分類B(期待耐用年数40年)の配管を使用した。よくなるよう配慮した。また、事務所部分の階高を1・2階ともに4.0m超、成型工場(1階防火区画)の壁長さ比率を0.1とし、それぞれの空間にゆとりを持たせた。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 北・西・南面に大規模な庇を設け、製品を雨から守るなど、工場における製品の生産・管理環境の向上に配慮した。また、敷地の55.6%分の空地を設け、風の通り道を確保し、敷地内の温熱環境が良くなるよう配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 建築物省エネ法適判において、BEIm=0.27を達成し、生産以外の室で余計な一次エネルギーを消費しないように配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 大便器は、節水コマがある上4.8Lの節水型便器を採用し、節水ができるよう配慮した。また、断熱材は発泡剤ではないロックウールを採用し、オゾン層破壊のリスクをなくした。	<b>LR3 敷地外環境</b> 卓越風向に対する建築物の見付面積比を44%とし、風通しが良くなるよう配慮した。また、敷地や建築物に対し十分な台数の駐車場および駐輪場を設置し、交通負荷が抑制できるよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される